

経済統計：第3回中間試験

村澤 康友

2018 年 7 月 9 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいに与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

1. (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。
 - (a) 統計量
 - (b) 標本分散
 - (c) 尤度関数
 - (d) 漸近（大標本）特性
2. (30 点) 分布表を用いて以下の問いに答えなさい。
 - (a) $X \sim \chi^2(1)$ とする。 $\Pr[a \leq X \leq b] = .98$ となる a, b を求めなさい。
 - (b) $Y \sim t(2)$ とする。 $\Pr[Y \leq c] = .1$ となる c を求めなさい。
 - (c) $Z \sim F(3, 4)$ とする。 $\Pr[d \leq Z \leq e] = .95$ となる d, e を求めなさい。なお $a \sim e$ はすべて実数とする（ $\pm\infty$ は除く）。
3. (50 点) $N(\mu_X, \sigma^2)$, $N(\mu_Y, \sigma^2)$ から独立に抽出した無作為標本を (X_1, \dots, X_m) , (Y_1, \dots, Y_n) とする。
 - (a) 標本平均 \bar{X}, \bar{Y} の分布をそれぞれ求めなさい。
 - (b) $\bar{X} - \bar{Y}$ の分布を求めなさい。
 - (c) プールした標本分散 s^2 を式で定義しなさい。
 - (d) s^2 はどのような分布をもつか？
 - (e) $m = n = 8$ とする。 \bar{X}, \bar{Y}, s^2 を用いて $\mu_X - \mu_Y$ の 95 % 信頼区間を作りなさい。

解答例

1. 統計学の基本用語

(a) 標本の関数.

(b) (X_1, \dots, X_n) の標本分散は

$$s^2 := \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2$$

(c) 標本の pmf・pdf を母数の尤度を表す関数とみたもの.

- 「標本の pmf・pdf」 のみは 2 点.

(d) 推定量 (統計量) の漸近分布に関する性質.

2. 分布表の読み方

(a)

$$\begin{aligned} \Pr[a \leq X \leq b] &= \Pr[X \geq a] - \Pr[X > b] \\ &= .98 \end{aligned}$$

これを満たす例は

$$\Pr[X \geq a] = .99$$

$$\Pr[X > b] = .01$$

χ^2 分布表より $X \sim \chi^2(1)$ なら $a = .000157088$, $b = 6.63490$.

- 各 5 点.

(b) t 分布の対称性より

$$\begin{aligned} \Pr[Y \leq c] &= \Pr[Y \geq -c] \\ &= .1 \end{aligned}$$

t 分布表より $Y \sim t(2)$ なら $-c = 1.886$, すなわち $c = -1.886$.

- 符号のミスは 5 点.

(c)

$$\begin{aligned} \Pr[d \leq Z \leq e] &= 1 - \Pr[Z < d] - \Pr[Z > e] \\ &= .95 \end{aligned}$$

これを満たす例は

$$\begin{aligned} \Pr[Z < d] &= \Pr\left[\frac{1}{Z} > \frac{1}{d}\right] \\ &= .025 \end{aligned}$$

$$\Pr[Z > e] = .025$$

$Z \sim F(3, 4)$ なら $1/Z \sim F(4, 3)$ なので F 分布表より $1/d = 15.101$, すなわち $d = 1/15.101$. 同じく F 分布表より $Z \sim F(3, 4)$ なら $e = 9.979$.

- 各 5 点.
- $d = 0$, $e = 6.591$ も可.

3. 母平均の差の区間推定

(a)

$$\bar{X} \sim N\left(\mu_X, \frac{\sigma^2}{m}\right)$$

$$\bar{Y} \sim N\left(\mu_Y, \frac{\sigma^2}{n}\right)$$

- 各 5 点.
- 平均で 1 点, 分散で 2 点, 正規分布で 2 点.

(b)

$$\bar{X} - \bar{Y} \sim N\left(\mu_X - \mu_Y, \frac{\sigma^2}{m} + \frac{\sigma^2}{n}\right)$$

- 平均で 2 点, 分散で 4 点, 正規分布で 4 点.

(c)

$$s^2 := \frac{1}{m+n-2} \left[\sum_{i=1}^m (X_i - \bar{X})^2 + \sum_{j=1}^n (Y_j - \bar{Y})^2 \right]$$

(d)

$$\frac{(m+n-2)s^2}{\sigma^2} \sim \chi^2(m+n-2)$$

(e)

$$\frac{\bar{X} - \bar{Y} - (\mu_X - \mu_Y)}{\sqrt{s^2(1/m + 1/n)}} \sim t(m+n-2)$$

$m = n = 8$ より

$$\frac{\bar{X} - \bar{Y} - (\mu_X - \mu_Y)}{s/2} \sim t(14)$$

t 分布表より

$$\Pr \left[-2.145 \leq \frac{\bar{X} - \bar{Y} - (\mu_X - \mu_Y)}{s/2} \leq 2.145 \right] = .95$$

すなわち

$$\Pr [-1.0725s \leq \bar{X} - \bar{Y} - (\mu_X - \mu_Y) \leq 1.0725s] = .95$$

または

$$\Pr [\bar{X} - \bar{Y} - 1.0725s \leq \mu_X - \mu_Y \leq \bar{X} - \bar{Y} + 1.0725s] = .95$$

したがって $\mu_X - \mu_Y$ の 95 %信頼区間は

$$[\bar{X} - \bar{Y} - 1.0725s, \bar{X} - \bar{Y} + 1.0725s]$$

- t(14) で 5 点.